



▲安倍氏時代の山城「八幡館山遺跡」

Q 村歴史資源の再確認を A 古代遺産で観光開発を



山谷 仁 議員（新志会）

Q1

平泉の世界遺産登録が決着を見ないものの、平泉・奥州藤原氏誕生のステップとなつた前九年合戦と後三年の合戦では特に岩手が主戦場であり、前九年合戦、最後の戦いは「厨川の柵」と「嫗戸の柵」の攻防である。そこに当時、岩手北上を支配していた「安倍氏」が滅び

るのである。

盛岡近郊では唯一滝沢村から、11世紀の遺物は「大釜館遺跡」、安倍氏時代の遺跡は「八幡館山遺跡」が見つかっている。

前九年合戦を記録した「陸奥国記」

によると「厨川の柵」「嫗戸の柵」は約1.8丁（約800m）離れており、「大釜館遺跡」と「八幡館山遺跡」は約1kmほどの距離であり、両柵の可能性も否定できません。

滝沢村には、今も前九年合戦につわる伝承も残されている。滝沢の歴史として、文化、観光も含めて取り上げてはどうか。

八幡館山遺跡の山城は、山頂部

付近に周回する空堀が良好に残つております。現在も見ることができます。遺跡の周知も含め、本村の歴史を顧みる観光資源の一つとして取り組んでまいります。

石油等の高騰に伴う補助を

Q2

今年も原油の値上がりによる、灯油の消費者価格がこれからも上がる。1缶2500円を超す状況も考えられる。生活困窮者に灯油補助を考えるべきではないか。

A1

安倍氏の居館として注目、大釜館遺跡は昭和62年から平成7年の9年間に亘り調査をし、11世紀中葉「安倍」の時代の遺構と遺物が発見され、安倍氏関連の居館として注目されております。また、平泉と同時期の遺構と遺物も小量でありますが出土して

A2

昨年度は、国の特別交付税措置で緊急的に支援を行つたところであり、今年度は国・県の動向を踏まえつつ検討いたします。



Q 学習林の活用と整備は

A 必要性・整備など研究



ひなた 清一 議員
(春緑クラブ)

A1 平成7年頃に滝沢村公民館の主催で少年少女自然観察教室が開催されており、最近では滝沢村保育協会による自然観察会が開催されています。



▲元村保育園自然観察会

Q1 本村には自然学習のための学習林があります。そこにはすばらしい草花が自生しております。まさに、自然遊び、オゾンをいっぱい吸える絶好の総合学習の場であります。現在はその様相はみえないが、この学習林はどのような目的で設置され、どのような活用・利用がされているか。また、今後の整備計画の考えは。

A2 収納率は97・38%で昨年同期比較で0・12%下回っていますが滞納繰越分では支払い督促の推進により収納率は2%向上しております。対策部会においては、口座振替利用促進に取り組み、給食センターとしても関係会議において説明とお願いに努めています。保護者としての責任感の希薄が

Q2 給食費の滞納・未納の実態と今後の回収の方策はどのように考えているか。

A3 現年分の徴収においては、早期納入催告文書の通知、学校の協力による催告、会計年度末の一斉催告、夜間の電話・訪問による催告、支払い督促の申し立て等積極的に取り組みます。そのほか学校だより、PTA会報や各種会合で周知を図り、納付の協力を求めてまいります。

Q3 今後滞納が発生しない対策の考えは。

滞納の要因の一つであり、小学校の新入学児童の保護者説明会においても未納状況及び口座振替の利用とお願いを実施しております。今後の回収としては、未納保護者との接触、あるいは債権の法的確保を図り更には強制執行の申し立てを検討してまいります。